

自分たちの地域は自分たちで守ろう！

町内会などが母体となって、地域の人々が自主的に防災活動を行うグループを「自主防災組織」といいます。

大きな災害が発生した時、力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。隣近所の協力や助け合いがとても大切です。普段から地域で活動しておきましょう。

◆日ごろから災害に備えるための活動を行います

- ◎ 防災知識の広報・啓発（防災イベント実施など）
- ◎ 地域の危険個所の把握（安全点検）
- ◎ 防災訓練（避難訓練、情報伝達訓練など）

◆災害時には、人命を守り、被害の拡大を防ぐために行動します

- ◎ 正しい情報の収集・伝達、広報活動
- ◎ 消火活動（出火防止）
- ◎ 救出救護活動
- ◎ 住民の避難誘導
- ◎ 避難所の管理運営

※災害時に、高齢者、障害者など、自分の身を守ることが難しい人を、地域一丸となって守れる支援体制を作りましょう



防災の基本は情報収集から！

◀土砂災害警戒情報▶

県と気象台が発表する、大雨による土砂災害の危険度が高まったときの警戒情報。テレビやラジオなどで流れます。

◀岡山県総合防災情報システム▶

県内の観測情報や避難情報など <http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/>（パソコン）

◀防災情報メール配信サービス▶

警報などの気象情報や災害情報がメールで配信されます（受信するには事前に登録が必要。通信費などは利用者の負担）。

●つやま災害情報メール

市内の被害状況や雨量状況、避難勧告など
<http://www.tsuyama-mail.jp/>（パソコン）
<http://keitai.tsuyama-mail.jp/>（携帯電話）

●岡山県防災情報メール

河川水位やダム放流、情報など
<http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/mail.jsp>（携帯電話）



二次元コード

←こちらから登録を→



二次元コード

災害情報をご連絡ください

◎大雨・洪水・暴風などの「警報」が発令されると、市役所本庁・各支所に災害警戒本部が設置されます

災害警戒（対策）本部 ☎23-2130

◎がけ崩れや家屋の浸水などの災害が発生したり、災害が起こりそうな場所を発見したらご連絡ください

問い合わせ先 本庁危機管理室 ☎32-2042
 加茂支所市民生活課 ☎32-7032
 阿波支所市民生活課 ☎32-7042
 勝北支所市民生活課 ☎32-7021
 久米支所市民生活課 ☎32-7012
 津山圏域消防組合 ☎31-1119



災害に備えよう

～わたしたちにできる防災対策～

自分のことは自分で守ろう

チェックしてみよう！

◆非常持ち出し品

- 携帯用飲料水
- 食品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレート）
- 貴重品（預金通帳、印鑑、現金）
- 救急用品
- ヘルメット、防災ずきん
- 軍手
- 懐中電灯
- 衣類（セーター、ジャンパー類）
- 下着
- 毛布
- 携帯ラジオ・予備電池・携帯電話
- マッチ、ろうそく（水にぬれないようにビニールでくるむ）
- 使い捨てカイロ
- ウェットティッシュ
- 筆記用具

《小さな子どものいる家庭は》

- ミルク
- 紙おむつ
- ほ乳びん

◆1人当たりの非常備蓄品

（最低3日分は用意しましょう）

- 飲料水 9リットル（3リットル×3日分）
- ご飯（アルファ米）4～5食分
- ビスケット 1～2箱
- 板チョコ 2～3枚
- 乾パン 1～2缶
- 缶詰 2～3缶
- 下着 2～3組
- 衣類 スウェット上下、セーター、フリースなど

※非常持ち出し品、非常備蓄品ともに、年に一度は点検して、新しいものと交換しましょう



あなたは用意していますか？
非常持ち出し袋

災害に備えてチェック！

- まずは天気予報を確認！
局地的な大雨に注意！
- 危険な行動はしない！
台風が接近している時に屋根や雨どいの修理はしない
- 近所の危険個所をチェック！
がけなど、家のまわりの危険を、普段から観察しておく
- 近くの避難場所をチェック！
いざというとき、どこに逃げればいいのか確認しておく



風水害、危険を感じたら自主避難！

- 洪水 台風などの大雨で、河川があふれ、水が堤防を越えてくる
- がけ崩れ がけから流れる水が濁ってきたがけにひび割れが入る
- 地すべり 地面にひび割れが入る沢や井戸の水が濁ってきた
- 土石流 山鳴りが聞こえる雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- 強風 台風などの進路により、強い風が吹く